

博士前期課程（修士） / 実践看護学領域 / 子どもと家族の看護学分野 科目コード：230011 子どもと家族のケアシステム論 Health Systems for Child and Family					
担当教員	西村 真実子、金谷 雅代、沼田 直子、谷口 由紀子				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords					
学習目的・目標	学習目的： 子どもと家族を支える保健・医療・福祉に関する制度とその背景にある現状を理解し、諸外国の制度や日本における先進的な取り組みの現状をふまえ、今後の施策を提言できる能力を養う 学習目標： 1)日本における子どもと家族に関する保健・医療・福祉に関する制度、ケアシステムの現状および課題を理解する。 2)諸外国の子どもと家族に関する保健・医療・福祉に関する制度・ケアシステムを学び、日本の制度・システムの課題を解決する方法を考える。 3)医療機関と学校・保育園および保育園・幼稚園と小学校の連携が必要となる諸課題を理解し、先進的な取り組み等から連携の方法や 専門看護師としてできることを考える。				
授業計画・内容					
回	授業内容			授業方法	担当
1～7	日本における子どもと家族に関する保健・医療・福祉に関する制度、ケアシステムの現状および課題 1)少子化対策(幼保連携認定子ども園のあり方も含む) 2)小児慢性特定疾患児への支援制度 3)小児医療制度：医療費助成、小児救急医療制度等 4)発達障害の子どもと家族への支援制度 5)子どもの虐待防止対策：発生予防(子育て支援・広報啓発) 6)子どもの虐待防止対策：早期発見・早期対応(児童相談所の体制整備、市町村要保護児童対策地域協議会の機能強化) 7)子どもの虐待防止対策：子どもの保護・支援、保護者支援(施設の小規模化と家庭的養護の推進、社会的養護のあり方、親権のあり方)			プレゼンテーション/討論/講義	西村
8～10	諸外国の子どもと家族に関する保健・医療・福祉に関する制度、ケアシステム（米国のThe Dougy Centerでのグリーフケアなど）			プレゼンテーション/討論/講義	金谷
11～13	次世代育成・親準備教育(先進的な取り組み) 1)カナダにおける小学校での「Roots of Empathy」プログラム 2)日本における小中学校での「赤ちゃん登校日」 3)思春期教育：石川県における高校生対象の次世代育成プログラム			プレゼンテーション/討論/講義	西村、金谷
14	母子保健システムの現状と課題			討論/講義	沼田
15	医療的ケア児への支援の現状と課題			討論/講義	谷口
教科書					
参考図書等		随時提示			
評価指標		1 出席状況・授業への参加状況 40％ 2 プレゼンテーション 40％ 3 事前学習 20％			
関連科目					
教員から学生へのメッセージ					